

ムクとシュウセイ

「無垢と集成の違いって何?」「どのように違うの?」
お客様の問い合わせでよく聞かれる質問です。
見慣れていないと、分かりにくいのも要因かと思います。
微妙な無垢材と集成材の違いについて
第2回目は、製造方法などについてお伝えします。

※無垢材のハギ加工作業風景

無垢材・集成材の製造方法

マルトクで取扱っている無垢材と集成材の製造方法について、特徴を交えてご紹介いたします。
無垢材も集成材もハギ加工技術を用いていますが、それぞれ異なる方法で製造されています。

無垢材

無垢材は受注後自社製造

無垢材の製造は、マルトク社内工場を受注毎に製造しています。

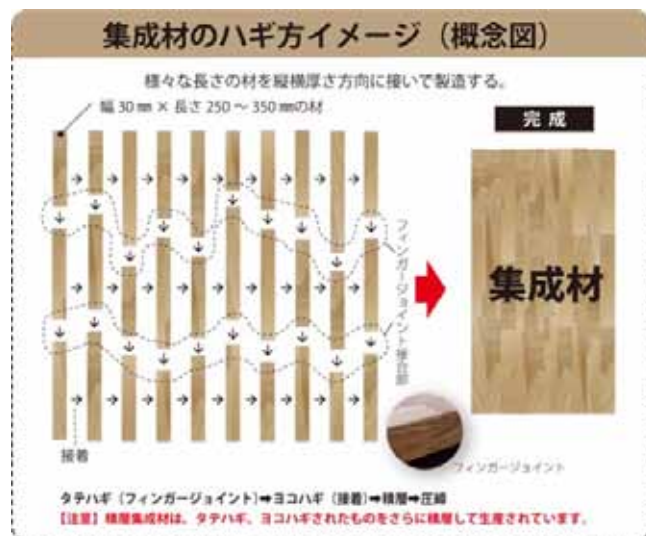
常時多樹種の在庫を保有し自社でカスタム加工まで行っています。無垢材ならマルトクと呼ばれる事を目指して日夜奮闘しています。無垢材は、横にハギ合わせながら必要な幅の材を仕上げます。集成材との決定的な違いは、長さ方向のハギがない事です。製造工程は、樹種によって若干異なりますが概ね次頁(p.2)の通りです。

マルトクでは、無垢材のビスケットジョイント以外にフィンガージョイントで製造を行っていますが、高周波でのハギ加工も検討しています。集成材と違って、無垢材のハギ加工は、横ハギ（幅ハギ）のみで製造するのが特徴です。ハギ幅が集成材よりも広く厚みのある材も多いので木の自然な風合いを醸し出す材が出来上がります。



無垢材と集成材の最も異なる製造過程はハギ方

同じ寸法の材を製造する際、ハギ板の枚数が異なります。横ハギだけで製造する無垢材に比べ、集成材は、縦ハギと横ハギで製造します。



無垢と集成の価格差

無垢材と集成材の価格の違いは、同じ樹種では無垢材と集成材とでは樹種によって異なりますが、ほぼ倍ほどの価格差があります。

天板

タモ無垢材

厚さ 30mm × 幅 800 × 長さ 1500

40,050 円

イメージ

棚板

タモ無垢材

イメージ

厚さ 20mm × 幅 350mm × 長さ 900

7,570 円

無垢材

VS

天板

タモ集成材

厚さ 30mm × 幅 800 × 長さ 1500

19,390 円

イメージ

棚板

タモ集成材

イメージ

厚さ 20mm × 幅 350mm × 長さ 900

3,890 円

集成材

2017年2月20日現在のマルトクショップでの価格です。

ハギ幅がポイント

**無垢材は 100mm～200mm程度のハギ幅、
集成材は約 30mmのハギ幅**

無垢材のハギ幅はマルトクショップでは、樹種によって異なりますが概ね 100mm～200mm程度の幅のランダムハギで生産しております。集成材は 30mm程度の比較的狭いハギ幅で生産されています。樹種の風合いを生かすなら無垢材に軍配が上がりますが、限られた予算や樹種にこだわりがあまりないシーンでの使用なら、集成材がお勧めです。



▲タモ集成材

▲タモ無垢材

強度、耐久性

集成材の強度は一時期、一枚板の 1.5 倍とか言われていましたが、厳密には材固有の特性や使用場所、使用方法、加工方法により異なるので明文化されていません。しかし、集成材が出回った当初は構造材として普及した経緯もあり、現在ではさらに進化し技術的にも優れた材として安心して使用されています。

耐久性は、塗装なしで使用した状態や、メンテナンスの頻度で異なります。無塗装で使用するより、オイル引きや自然塗料、ウレタン塗装などを施した方が永く良好な状態で使用できます。一般的な合板とは異なり無垢材・集成材は、芯（中心）まで木材なので、劣化しても磨けばもとの風合いが戻ります。そういった事を考えれば、処理と扱い次第で耐久性は異なってきます。

使用される場合は、用途に応じた塗装を施すのがいいでしょう。マルトクでは、各種の塗装サービスを行っております。ご購入の際は、ぜひご相談ください。

仕上がった無垢材や集成材は、一枚板のように目に映りますが

職人や技術者、機械の発展の賜物です。

木が持つ豊かな味わいは人々に安らぎを与えてくれるで事でしょう。

無垢材と集成材の製造方法ご理解いただけただけでしょうか。

それぞれの特徴を活かして暮らしの中でウッドライフをご創造ください。

ムクとシュウセイ③へ続く